

J P 子どもの森づくり運動 2021年度活動報告



2022年4月

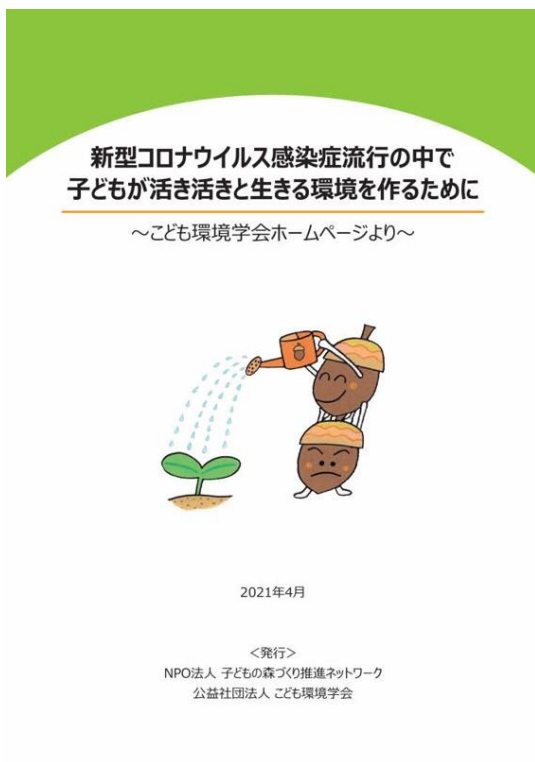
NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

【目次】

1. 感染症下における体験活動マニュアルを提供
2. 「東北復興グリーンウェイブ2021」活動報告
 - 1) 被災地での植樹会
 - 2) 苗木を見送る会
3. 2021年度オンライン講座
 - 1) 自然・環境体験オンライン講座
 - 2) 保育防災アクションマイスター認定講座2021
 - 3) 園庭緑化運動2021
4. 「どんぐりSDGs劇団」活動開始
 - 1) 運営概要
 - 2) 趣旨・目的～今、なぜ「どんぐりSDGs劇団」なのか
 - 3) 出演者紹介
5. 普及・広報活動
 - 1) 自然・環境展に参加・出展しました。
 - 2) マスコミ取材実績リスト

1. 感染症下の自然・環境体験活動マニュアル冊子を提供

幼児(少)期の自然・環境体験活動を提唱する J P 子どもの森づくり運動（特別協賛：日本郵政グループ）では、参加園を対象に、公益社団法人こども環境学会との共同で、同会が提供する感染症下の外遊びや自然体験活動を実践する際の優れた知見や情報を提供しました。



《目次》

本冊子発行について

公益社団法人こども環境学会リリース

その1：感染から守りたい。お家で、どう過ごす？

子どもの心や体のためにできること

その2：緊急事態宣言のなかでの子育て～ママ・パパ・保護者へのメッセージ～

その3：子どものこころと身体の健康のために、じょうずに日光・外気とつきあいましょう

その4：おうちで手軽にできる遊びのレシピ

その5：緊急事態宣言のなかでの子育て～親子あそび～

2. 「東北復興グリーンウェイ2021」活動報告

1) 岩手県大槌町での植樹会

2021年6月7日(月)に、J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」(以下「東北復興グリーンウェイ」)の2021年度の植樹会が、今年度から活動にご参加いただいた岩手県大槌町「つつみこども園」近くの苗畑において開催されました。今年も、東北のどんぐりの苗木が、24の全国の参加園から199本届きました。



①開催概要

日 時：2021年6月7日(月)10:00～11:30

会 場：〒028-1101 岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里2-2-3「つつみこども園」もより苗畑、及び園庭

主 催：社会福祉法人堤福社会 幼保連携型認定こども園「つつみこども園」

共 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）

特別協賛：日本郵政グループ

後 援：大槌町

協 力：大槌町「川勝商店」

②開催レポート



午前10時から植樹会の開会式が始まりました。

まずは主催者ごあいさつとして、社会福祉法人堤福社会常務理事 芳賀潤さんから、『3.11の東日本大震災から10年の節目に、全国の子どもたちが大切に育ててくれたどんぐりが戻ってきて、それを引き継いで子どもたちが育て被災した場所に植樹するととても素敵なストーリーです。子森ネットさん、日本郵政グループさん、大槌町さん、またこの苗畑を提供頂いた川勝商店さんに感謝申し上げます。』とごあいさついただきました。

ご来賓ごあいさつとして、大槌町副町長 北田竹美さんからごあいさついただきました。北田副町長さんからは、以下のメッセージをお送りいただきました。『大槌町での初めての「東北復興グリーンウェイ」活動として、無事に植樹会が開催されたことを喜ばしく思います。この植樹会をきっかけとして、全国の子ども達と大槌町の子ども達の絆がより深まることを、強く願っております。』





活動を共に推進していただいている日本郵政グループからは、地元の吉里吉里郵便局局長 中村和也様から応援メッセージをいただきました。

植樹活動が始まりました。

当日は、お父さんお母さんたちも参加して、苗木が大きく育つことを願ってみんなで一生懸命植えました。



全国の参加園から届けられた、119本の東北のどんぐりの苗木が、すべて植えられました。

苗畑への植樹会を終えて、みんなでどんぐりのポーズで記念撮影です。





苗畑での植樹会を終えて、園庭に新設された植樹フィールドにも苗木を植えました。これは、子どもたちが日常的に苗木の成長を観察できるようにとの思いで園庭に特設された小さな植樹フィールドです。

活動を終えて、芳賀園長先生からのメッセージです。
「昨年の10月から準備を進めてきた植樹会、コロナで子森ネットさんの参加が出来なかったことはとても残念ですが、無事終えることができ安心しています。苗木が送られてきたときは、元気に育っている緑の葉をみて大切に育てて頂いたことに感動しました。また、親子での植樹は、自然を感じ、土を触る体験はとても良い機会だったと思います。このどんぐりが、地域を見守ってもらえるように大きく成長し、次から次と実を落として次につながっていく活動になったらいいなあと思います。」



J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」における被災地での植樹会は、開催地の子どもたちと全国の子どもたちが、木を育てる活動を通じて“どんぐりの絆”で結ばれ、これからSDGsの時代を生きていく子どもたちにとって、もっとも重要な価値観である「共に生きる心」を育むことを目指す活動です。

「共に生きる心」は、わたしたちが、2012年からの復興支援活動を通じて、被災地の人たちから学んだ大切な心です。これからもそんな大切な心を、全国の参加園と日本郵政グループの皆さんと共に、これから持続可能な時代を生きていかなければならない全国の子どもたちに語り継いでまいりたいと思っています。



2) 福島県伊達市での植樹会

2021年11月18日(木)に、福島県「伊達こども園」の園庭で、「東北復興グリーンウェイ」の植樹会が開催されました。同園では、「東日本大震災」原発災害の除染作業によって失われた地域の緑の再生活動として、園庭にどんぐりの森づくりを進めておられ、「東北復興グリーンウェイ」が活動を継続的に支援しています。今年は、園庭に7本のどんぐりが植えられました。



今年の植樹会には、年長組80名が参加してくれました。開会式では、「伊達こども園」の内藤副園長先生にごあいさついただき、なぜ、どんぐりの苗木を植えるのかを子どもたちにお話しいただきました。続いて、子森ネット塚原代表より、「みんなで元気にどんぐりの苗木を植えよう！」と子どもたちに応援メッセージが送られました。

どんぐりの木を植える前に、「どんぐりSDGs劇団」によるお芝居「どんぐりの森のドンちゃん和グリちゃん」が上演されました。どんぐりの森に住む「どんぐり〜ず」が、いろいろな動物たちとの出会いや様々な体験の中で、木や森の大切さ、そして、森に住むものはみんな仲間、互いに分かち合う心が大切なことに気づいていくお話です。



そして、いよいよ植樹活動です。植えられている苗木は、東北のどんぐりを全国のお友だちが苗木に育てて送ってくれた苗木です。今年も、どんぐりの苗木を植える活動を通じて、「伊達こども園」の子どもたちと全国の子どもたちが“どんぐりの絆”で結ばれました。



「どんぐり〜ず」も植樹活動を手伝ってくれました。



最後にみんなで記念撮影を撮って、樹会を終了しました。

3)「苗木を見送る活動」

①東北のどんぐりの苗木送付園リスト

2021年度の「東北復興グリーンウェイ」の活動では、全国24園の参加園が苗木を送る活動に参加し、199本の苗木が岩手県大槌町の「つつみこども園」に届きました。

NO	都道府県	園名	NO	都道府県	園名
1	北海道	三和新琴似保育園	13	滋賀県	みどりこども園
2	埼玉県	児玉保育園	14	広島県	広島キリスト社会館保育所
3	千葉県	岩根保育園	15	〃	みのり愛児園
4	〃	今井保育園	16	〃	まごころ保育園
5	東京都	東京ゆりかご幼稚園	17	〃	清水谷保育園
6	〃	中目黒駅前保育園	18	〃	常石すくすくハウス
7	〃	春明保育園	19	福岡県	るんびに保育園
8	〃	杉の子学園保育所	20	〃	西新文化保育園
9	石川県	平和こども園	21	〃	別所保育園
10	福井県	大野幼稚園	22	大分県	ももどのこども園
11	静岡県	エンゼル幼稚園	23	宮崎県	つくしんぼ保育園
12	三重県	三重愛育保育園	24	鹿児島県	こまどり保育園



植樹会場に展示された「どんぐりの絆BOX」

②東北のどんぐりの苗木を見送る会実施園リスト

今年度、東北のどんぐりを送ってくれた参加園の内、下記の園より活動実施報告が届きました。

番号	園名	都道府県	見送る会 開催日程	郵便局名	参加の有無 (参加者名)	理由	その他	マスコミリリース
1	広島キリスト 社会館保育所	広島県	5月26日	広島西郵便局	不参加	感染症対応		園要請で未発信
2	大野幼稚園	福井県	5月26日	大野郵便局	立野局長様		レポートあり	発信済み
3	平和こども園	石川県	5月27日	穴水郵便局	神崎局長様			発信済み
4	こまどり保育園	鹿児島県	5月27日	鹿児島中央 郵便局	局長様		レポートあり	発信済み
5	認定こども園 別所保育園	福岡県	5月27日	八幡西郵便局	局長様		ぼすくまが NGになった のがさびしい	園要請で未発信
6	今井保育園	千葉県	5月28日	千葉中央郵便局	不参加	感染症対応	レポートあり	園要請で未発信
7	児玉保育園	埼玉県	5月28日	児玉郵便局	局長様		神座森林 インストラクター レポートあり	発信済み
8	エンゼル幼稚園	静岡県	5月31日	三島郵便局	不参加	感染症対応	集荷のみ	園要請で未発信
9	みのり愛児園	広島県	5月31日	緑井郵便局	中野局長様		レポートあり	発信済み
10	岩根こども園	千葉県	6月1日	巖根郵便局	不参加	感染症対応		園要請で未発信

③東北のどんぐりの苗木を見送る会実施レポート

【レポート1】福井県「大野幼稚園」

■日時：2021年5月26日(水)

■場所：自園

■活動内容

園長挨拶

保護者代表挨拶

園児達が育てた苗木を「どんぐり絆BOX」に入れる

郵便局長さんに「どんぐり絆BOX」を手渡す

大野郵便局 局長 立野 外史 氏

「どんぐりえがお」の歌をうたう

記念撮影

郵便スタッフから「大切に届けます」のお返事をいただき、
赤い郵便車を園児達が見送る。

■取材

・毎日新聞 ・福井新聞 ・日刊福井



【レポート2】鹿児島県「こまどり保育園」

- 日 時：2021年5月27日(木)
- 場 所：自園
- 参加者：4歳児25名、5歳児30名、職員6名
鹿児島中央郵便局 局長様
- 活動内容

- 10:30 開会式
郵便局長ごあいさつ
- 10:40 代表の子ども達が苗木をボックスに
箱詰めする
- 10:50 苗木ボックスを中央郵便局の方に手渡し
記念撮影
- 11:00 閉会



【レポート3】千葉県「今井保育園」

- 日 時：2021年5月28日(金)
- 活動内容：園よりドキュメンテーションによるレポートが届きました。



【レポート4】埼玉県「児玉保育園」

■日時：2021年5月28日(金)10：00～11：00

■参加者

年長児34名 保育士3名

インストラクター：神座 侃大氏

児玉郵便局 局長様

■活動内容

開会式

ごあいさつ：園長、インストラクター、局長様

絵本読み聞かせ

苗木をお披露目してから箱詰め



【レポート5】広島県「みのり愛児園」

■日時：2021年5月31日(月)

■参加者

園児：4歳児、5歳児 緑井郵便局 局長

■内容

新型コロナウイルス感染防止対応のため、縮小して行いましたが、子どもたちと「どんぐりさん、大きくなってね」と、どんぐりの絆BOXの乗った郵便車を見送りました。



3. 2021年度オンライン講座

1) 自然・環境体験オンライン講座

①実施趣旨

「新型コロナウイルス」の感染症対応は、いまだに予断を許さない状況が続いており、保育における感染症対応が長期に渡ることが予想されます。そのため、J P 子どもの森づくり運動では、今年度も自然・環境体験活動のスキルアップを目指す「自然・環境体験講座全国キャラバン2021」を実施することとし、参加園の募集を開始します。感染症の状況を鑑み、今年度の講座の前半は（A）オンライン（ZOOM）講座を、後半は（B）リアル講座とする2段構えとしました。

7月講座では、まず、新型コロナ感染症下における感染症対策について、**帝京大学医療技術学部看護学科 准教授 三木 祐子先生**から、8月講座では、野外保育における危険予知について実践的な方法を、**札幌大谷大学短期大学部 保育科准教授 田中 住幸先生**から、9月講座では、保育における多様な自然体験の意義について、**東京学芸大学 名誉教授 小澤 紀美子先生**から学んでいただきました。

今回の講座は、（公社）こども環境学会のご協力により、第一線でご活躍されておられる素晴らしい方々に講師をお引受けいただきました。また、参加者募集においては、まず、J P 子どもの森づくり運動の参加園を優先しつつも、広報活動の一環として、参加園以外の保育関係者や自然体験活動団体、さらには研究者にも案内しました。

②実施概要

- 主 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- 特別協賛：日本郵政グループ
- 協力：（公社）こども環境学会、他
- 実施期間（回数）：2021年7月～9月（3回）
- 募集対象者：保育者、及び保育関係者
- 受講者数：1回につき先着30名（＊定員になり次第締め切ります。）
- 受講料：無料



③講座内容

【7月講座：体験活動における感染症対策】

■日時：2021年7月17日(土)13:30～15:00

■講師：帝京大学 医療技術学部看護学科

准教授 三木 祐子先生

■講師ご紹介

聖路加看護大学卒業、東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻（母子保健学・発達医科学）博士課程修了。日本赤十字社医療センター看護師、虎の門病院看護師、厚生労働省看護系技官、東京有明医療大学看護学部看護学科講師等を経て、2018年より現職。現在、大学では小児看護学に関する教育、母子保健、学校保健に関する研究を行っている。



【8月講座：保育のための安全対策講座～屋外保育における危険予知～】

■日時：2021年8月6日(金)14:00～16:00

■講師：札幌大谷大学短期大学部

保育科准教授 田中 住幸先生

■講師ご紹介

北海道教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。大学卒業後20年間、幼児や児童を対象にした、自然遊びの指導に従事する。子どもたちや保育者が自然遊びを楽しむには、どんな仕掛けが必要かを考えることが研究・実践のテーマ。また、安心・安全な保育を行っていくための研修会講師や教材開発も行っている。



【9月講座：子どもと自然～多様な自然体験が子どもを育む～】

■日時：2021年9月9日(木)14:00～15:30

■講師：東京学芸大学 名誉教授

工学博士 小澤 紀美子先生

■講師ご紹介

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（建築学専攻）後、（株）日立製作所システム開発研究所を経て、現在、東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授・公益社団法人こども環境学会理事。



2) 保育防災アクションマイスター認定講座2021

2020年度から、消防庁アドバイザー（株）タフ・ジャパン 代表 鎌田修広氏と共に準備して来た、「保育防災アクションマイスター認定講座」がスタートしました。同講座は、保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ防災リーダーの養成を目指すオンライン講座です。同講座には、2021年度、全国の参加園から11園が参加し、年間6回のオンライン講座を受講していただきました。その結果、2022年2月15日(火)「全国集会＆研修会2022」での活動発表をもって、17名のアクションマイスター（1期生）と11園の認定園が生まれました。



マイスター認証バッジ

①講座開催趣旨

- * 通常の防災の仕組みや方法が通用しない、保育施設に特化した防災の取り組みであること。
- * 多くの保育防災講座の事例から構築された、保育の現場で本当に役立つ実践的な講座であること。
- * 実効性ある保育防災は、園全体で取り組まねば実現できない。本講座では、受講者だけではなく、防災の取り組みを園全体で共有しながら進行する内容となっていること。
- * 大手通信会社との連携で、保育の現場に対応できる安否確認・一斉同報システムも提供している。

②2021年度講座開催スケジュール

カテゴリー	ワークショップ開催日
説明会	認定講座全体説明
第1回：事前準備・初動体制	2021年5月21日(金)
第2回：情報収集・安否確認	7月1日(木)
第3回：消火・救助救出・応急救護	8月3日(火)
第4回：避難訓練等	9月14日(火)
第5回：地域や保護者との連携	10月25日(月)
第6回：食料等の備蓄＆その他	12月6日(月)
年間レポート提出締切り	2022年1月21日(金)
活動発表	2月15日(火)



オンライン講座風景

3) 園庭緑化運動2021

園庭を、単なる平坦な運動だけの場ではなく、幼児(少)期の子どもたちにとって、多様な自然や環境の体験のできるもっとも身近なフィールドとして緑化、自然化していこうという運動です。2020年度から、モデル活動園として、**東京都「三茶こだま保育園」(都市型)、静岡県「エンゼル幼稚園」(郊外型)、鹿児島県「こども園ほしのこ」(田園型)**の、それぞれ特徴的な立地にある3園にご参加いただいています。



「園庭緑化運動」参加園シール

園庭緑化や整備事業は、とかく大がかりなものとなりがちです。当運動では、「子どもたちが種から育てたどんぐりの苗木を1本植えることから始める」をテーマに、手づくりの園庭緑化(自然化)活動のを提案しています。そんな園庭の樹木によって、子どもたちは、春の若葉、夏の緑、秋の紅葉、そして冬の落葉と、季節ごとの変化が楽しめます。そんな体験こそ、子ども本来の生きる力と自然に対する親しみの心を育んでくれるものと考えております。

①2021年度の活動

園庭緑化運動の1年目となる2020年は、園全体としての方向性の確立とモチベーションを高めるために、参加園それぞれ、年4～5回のワークショップを実施しました。そして2年目となる2021年は、小さくても良いから目に見える成果を出すことを目的として活動していただいています。子森ネットでは、昨年度に続き、モデル園によるそれぞれ特徴的な活動を会報やホームページを通じて定期的に会員園に提供し、運動の裾野を広げる活動に取り組んでまいります。さらに、園庭緑化運動の2年間を取りまとめた小冊子を作成、運動の集大成として会員園に提供しました。(写真右ご参照)



②活動事例

鹿児島県「こども園ほしのこ」では、今春より実践的な園庭緑化(整備)活動に取り組んでおられます。



★シンボルツリーを植樹しました。



★テラスを作成しました。



★トンネルのある築山を作成しました。

4. 「どんぐりSDGs劇団」設立

2021年、J P 子どもの森づくり運動では、幼児(少)期の子どもたちに、SDGsの大切なことを分かりやすく伝えるための試みとして、「**どんぐりSDGs劇団**」を結成しました。保育園・幼稚園・こども園の子どもたちに自然と環境体験活動を提供する活動とお芝居の力によって、森の楽しさや森の生態系の大切さを体感的に伝えていこうという挑戦的な取り組みです。 演じるのは「♪どんぐりえがお」でおなじみの「どんぐり〜ず」の皆さん。演題は『**どんぐりの森のドンちゃんとグリちゃん**』です。どんぐりの森に住む「どんぐり〜ず」が、いろいろな動物たちとの出会いや様々な体験の中で、森の大切さ、森に住むものはみんな仲間、互いに分かち合う心が大切なことに気づいていくお話しです。まずは、「子森チャンネル」にアップし、幼児(少)期の子どもたちの環境学習のツールとしての活用を提案しました。新型コロナウイルス感染症の状況が改善されたら、訪園しての**全国キャラバン**も予定しております。

1) 運営概要（敬称略）

- ・企画制作：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
劇団スーパー・エキセントリック・シアター
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・脚本：小暮邦明 ・演出：山崎大輔
- ・音楽：大崎聖二 佐久間順平（「♪どんぐりえがお」）
- ・衣裳：水野佳子 ・小道具：どんぐりSDGs劇団
- ・撮影編集：(有)エーエムディーオフィス



どんぐり〜ず

2) 趣旨・目的～今、なぜ「どんぐりSDGs劇団」なのか～

■ J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」が、「♪どんぐりえがお」の歌とダンスによって語り継いできた“どんぐりの絆”と“共生の心”を、総合エンターテインメントとしてのお芝居の力によって子どもたちに分かりやすく、体感的に伝えたいと思います。

■ 「♪どんぐりえがお」が伝えたい“どんぐりの絆”と“共生の心”は、これからSDGsの時代を生きていかなければならない子どもたちに、今、もっとも伝えなければならない「環境の心」の基礎となるものです。

■ 新型コロナウイルス感染症の状況がなかなか改善されず、野外活動や自然・環境体験活動が自粛されがちな今こそ、エンターテインメントの力によって、「環境の心」を子どもたちの心に種まく活動を継続してまいりたいと思います。

3) 出演者紹介

今後の全国キャラバンへの展開を想定して、現在、「どんぐり〜ず」は、SD組とGs組の2組のダブルキャストで編成されています。出演者は、それぞれキャリアのある優れたエンタテイナーであると共にコミュニケーションのプロです。より良き未来を願う保育者が、子どもたちに伝えたい大切なことを分かりやすく伝えてくれるでしょう。



★どんぐり〜ず「SD組」

- ・安田 裕さん
- ・鎌田麻里名さん



★どんぐり〜ず「Gs組」

- ・嶋田 真さん
- ・山下香織さん

5. 普及・広報活動

1) 自然・環境展に参加・出展しました。

①第30回森と花の祭典「みどりの感謝祭」に出展しました。

恒例の「緑の感謝祭」に出展しました。

日時：2021年4月15日(木)～5月14日(金)



②「こども環境学会全国大会（長野大会）」に参加しました。

日時：2021年7月2日～4日(日)



③「エコプロ2022」に出展しました。

日時：2021年12月8日(水)～10日(金) 場所：東京ビッグサイト



④「全国集会&研修会2022」を開催しました。

【開催概要】

- 開催日：2022年2月14日(月)、15日(火)
- 主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- 共催：認定こども園 大野幼稚園 国際校庭園庭連合日本支部
- 特別協賛：日本郵政グループ
- 後援：（公社）こども環境学会 （公社）大谷保育協会
- 協力：（公社）全国私立保育連盟 （公社）国土緑化推進機構 保育環境研究所ギビングツリー

【開催内容】

■基調講演

- テーマ：環境教育としての自然体験
～こどもの自然体験の重要性～
- 講師：北海道教育大学 教育学部
岩見沢校アウトドア・ライフコース
教授 能條 歩先生（写真右）5



- 「園庭緑化運動」モデル園活動発表、及び総括
田園調布学園大学大学院 人間学研究科
子ども人間学専攻 准教授 仙田 考先生

■保育防災講座

- 講師：消防庁防災アドバイザー
(株)タフ・ジャパン 代表取締役 鎌田修広氏
- テーマ：過去の教訓を生かした本気の防災アクション



■保育防災アクションマイスター認証式

保育防災アクションマイスター 1期生17人への「認証状」と、マイスターを配する園に送られる認定園の「認定状」の授与式をオンラインで実施しました。



2) マスコミ取材実績リスト

①東北のどんぐりの苗木を見送る活動

■新聞

* 福井新聞 2021年5月28日(金)朝刊

* 日刊福井 2021年5月28日(金)朝刊

* 毎日新聞 2021年5月28日(金)朝刊

②被災地での植樹活動

■テレビ

* NHK盛岡放送局

放送日：2021年6月9日（水）18：10～

番組：「NHKおぼんですいわて」* 18：30頃の“地域発、こちら通信員”で放送

* 岩手朝日テレビ

放送日：2021年6月8日（火）県内ニュース

■新聞

* 岩手日報 2021年6月8日（火）朝刊

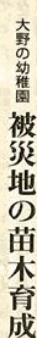
③掲載紙

日刊福井 5月28日朝刊



大野市の大野幼稚園で26日、東日本大震災の被災地へどんな
りかを育てる苗木をふるさとに送り返す「東北のきずけの苗木
を育てる会」が開かれた。苗木は震災で津波の被害を受けた
岩手県大槌町のこども園に届ける。水やりなど世話をするこ
園児が加わり、苗木の更なる成長を願って欲しい。元気よく
見送った。

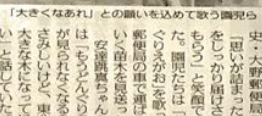
【随想随佳】



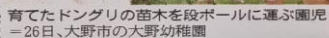
箱詰めする前にどんぐりの苗木の成長具合を確認する園児たち
＝いずれも大野市の大野幼稚園で



箱を受け取った立野外 ている



福井新聞 5月28日朝刊



町の大野幼稚園で26日、苗木を東北に送り返す「早送る会」が行われた。園児は「もっと大きくなって

やりなど世話を続け、苗木
3本が50センチから100センチま
でに育った。
見送る会には園児29人

被災地へ全国の子どもが
ドングリを通じてきずなを
強める「東北復興グリーン
ウェイ」の一環。NPO
法人「子ども森づくり推
進ネットワーク」（東京）
と都が「日本郵政グループと
協力して2012年から
実施しており、同園も当初
から参加している。

園児は18歳と19年の11月
に30個づつ預かったドングリ

参加。藤原量国長は「みんなの世話でこんなに大きくなりました」と、子どもたちの頭振りを楽しめた。達路真ちゃん⑥は「3年児4人が苗木をボール運び入れ、大野郵便局に元気な声で「お願ひす」と手渡した」。

苗木は28日までに若手大町町のつみなこどもに届けられる。(林俊介)

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

“どんぐりの絆”園児が苗植え【岩手・大槌町】

6/7(月) 20:09 配信 0  

岩手朝日テレビ



被災地に緑を増やそう
東北と全国をつなぐどんぐりの苗
フラッシュニュース

大槌町吉里吉里
午前10時ごろ

IAT岩手朝日テレビ

被災地に緑を増やそうと、大槌町の園児たちがどんぐりの苗を植えました。この植樹会は、被災地の緑の復興を進めようとする取り組みで、つつみこども園の園児や保護者らが参加しました。植えたのは、全国の子どもたちが東北各地のどんぐりから育てた苗200本です。園児たちは、全国の子どもたちとのつながりを感じながら丁寧に植えています。7日に植えた苗は、2年ほど育てられたあと、被災地に移植するということです。

最終更新: 6/7(月) 20:09
IAT岩手朝日テレビ

岩手日報 6月8日朝刊



真剣な表情で苗木を植える園児

友情どんぐり 大きなあれ

つつみこども園199本植樹
「大きなあれ」と声を掛けた。田中母ちゃん（6）は「植えるのが楽しかった。元気に大きく育ってほしい」と苗木を見つめた。

東日本大震災被災地の緑の復興とどんぐりを通じた交流を図る東北復興グリーンウェイ（NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク企画運営）の一環。東北で拾ったどんぐりを全国の子どもたちが育て、その苗木を被災地に植樹する。同町は今回が初めて。これまで宮古市や山田町で行われた。

大槌

大槌町吉里吉里のつつみこども園舎長カネナ園長。園児68人は7日、コナラなどの苗木を地区内と園庭の畑に植えた。全国の保育園などで育てたもので、子どもたちが成長を願って作業に励んだ。

園児と保護者、関係者ら約40人が参加。全国24の保育園・こども園から届いた10〜40センチの苗木199本を丁寧に植え、子どもたちは「大きなあれ、大きなあれ」と声を掛けた。